

# 力の底盤 終盤 星光の打

## 両校計29安打 弘東、反撃及ばず

▽準々決勝(青森市営)  
弘前東 1  
1014 1001 0001  
5204 1001 0301  
128

八学光星

(弘) 奥谷部、竹永、織田、諏訪、長尾  
(八) 櫻井、奥村  
▽本塁打 益田、伊藤(八)  
▽三塁打 佐々木(弘)▽暴打 相馬、田中(弘)  
花岡、田坂、小淵(八)  
▽暴投 櫻井(八)  
▽審判 澤田(球) 菊池(1B) 谷川(2B) 玉内(3B)



【弘前東-八学光星】8回裏、八学光星2死二、三塁、小林の中前適時打で2者がかえり、11-7とリードを広げる。捕手・長尾

【評】八学光星は1点差に迫られた八回、1死三塁から田坂の適時一塁打で加点。八回2死二、三塁からは小林、小淵の連続適時打で3点を挙げ、ついに逆転した。両チーム計29安打の乱打戦を制した。7盗塁も光った。先発櫻井は四回以降持ち直し、無失策の守にも助けられて要所を締め、完投した。

弘前東は終盤八回に痛しい失策、ピンチを放ち、3番手織田が制球が甘くなったところを狙い打たれた。九回無死満塁の好機も及ばず力尽きた。善戦

## 足技、堅守 光星そつなし

### 焦点

「機動力を使い、小さく、六をついてこい。開け、勝利を引き寄せたい。八学光星、仲井監督が試合前に語っていた

言葉通りの野球が、9-2塁へ走り、三塁と揺られて迎えた八回に凝縮させられた。二回で一本出れば楽になる。一年秋からレギュラーを張る小林が期待に応えた。追い込まれるまではストロークを狙え、という指揮官の指示通り、カウントを稼ぎ、三球目に甘い直球を中堅にはじき返し、差を4点に。さらに小淵も中越え適時二塁打で逆転。弘前東の主戦織田を引きずり降ろした。この日の盗塁は7。一発夜勢に目が眩みかけたが、相手の隙を確実につき勝機を広げるそののが勝負どきで光った。

「まだ二回まで相手は闘志あふれる攻撃をしてくるとは思わなかった。でもそれをよくはね返してくれた」と仲井監督。準決勝は好投手・竹本を擁する八戸西との同地区対決となる。二回に爽快な一撃を放った主砲益田は「この苦しい試合をものじしたのは自信になる」と気合十分だ。大技、そして小技あり。春のセンバツ出場校が、いよいよ波に乗ってきた。(松田啓志)



○回表、弘前東無死満塁、八学光星は桜庭の遊ゴロを併殺に打ち取る。(左から)遊撃手・小林、二塁手・伊藤

第98回

## 全国高校野球 青森大会

第8日

## 4強まず2校

第98回全国高校野球選手権青森大会は第8日の17日、青森市営球場で準々決勝2試合を行い、八戸勢2校がベスト4に乗り上げた。弘前東、八学光星は、八学光星が八回に小林、小淵の適時打で3点を挙げて突き放し、12-8で弘前東に打ち勝った。青森商、八戸西は、八戸西が投げては主戦竹本が奪封、打っては15安打10得点と投打の両軍がかみ

合い、青森商を10-0の六回コールドで下した。第9日の18日は同球場で聖愛、弘前工、大湊、八工大の準々決勝残り2試合を行う。(本紙取材班)

### きょうの試合

(左のチームが一塁側)  
◇青森市営  
▽準々 弘前工(10・0)  
愛一八工大(13・0)  
聖大